

平成 30 年度「日本ふるさと名産食品展 in クアラルンプール」開催報告

クレアでは、地域産品の海外市場への展開支援に取り組む自治体に対し、地元事業者へのテストマーケティングの場の提供、海外での食品展開催ノウハウを提供することを目的として「日本ふるさと名産食品展」を開催してきました。平成 30 年度は、10 月 26 日（金）から 10 日間、昨年に引き続きマレーシア・クアラルンプールで開催しました。



賑わう販売会場

マレーシアで日本食が熱い！

マレーシアには、富裕層が多いと言われている中華系の方々がおよそ 660 万人も暮らしています。また、消費を支える世代（15 歳～64 歳）が国全体の人口の 70%を占め、平均年齢は 28.3 歳です。これらの世代は、日本食を好んで食べ、SNS を通じて日本の情報を得ています。

二年連続で会場となった ISETAN The Japan Store があるブキビンタン地区は、クアラルンプールの中心街で、ビジネスパーソンから家族連れまで、多くの人で賑わいます。同店舗は「日本」をテーマにしたコンセプトで運営をされており、日本食の購買層となりやすい中華系富裕層の方々が必要な顧客になっています。場所柄、観光客も多く、欧米系観光客も来店されます。



会場の伊勢丹 Lot10 店

現地消費者の反応がわかる物産展

今年度は日本酒も対象とし、昨年度のほぼ倍の数である 27 事業者（16 自治体）が参加しました。

特に最初の週末は、同店の周年イベントが実施されていた為、多くの来店客がありましたが、語学のできる事業者は直接来店客とコミュニケーションを取り、自社商品を説明、その反応を得ていました。今回の食品展では参加事業者に対しハラル対応は求めていませんでしたが、ムスリム系のお客様に、事業者が丁寧に成分や加工法を説明することにより、購入に結び付いたケースもありました。

また、今回参加された自治体職員からは、「販売員・お客様など、現地の方からの意見や反応を直接知ることができた」、「出展事業者と情報交換することで、他自治体の取り組み方を知ることができた」というコメントを頂きました。



商品説明を熱心に聞くお客様

開催店舗の強みを活かした連携

同店の周年事業での開催含め、昨年以上に開催店舗には協力を頂き、人気の高い同店の日本食レストラン、日本酒販売コーナー、開催会場でのイートイン等との連携を行いました。

また、同店からの提案で、今回のフェアでは、料理本の世界大会で3位を受賞したこともあるマレーシアのインフルエンサー、ラビット京子氏とのコラボ企画を実施しました。現地ではなじみの薄い味噌や梅等の出展商品について、ラビット京子氏考案のレシピを用い

各事業者へ試食方法をアドバイスしていただきました。

また、氏の SNS でイベントの宣伝も積極的に行っていただきました。

マレーシアでは、鮮やかなパッケージが好まれるとのことで、味の次に、カラフル・ポップなパッケージにすることが重要とのことでした。



七味（出展商品）と蕎麦店とのコラボ

メニューフェアで新商品開発

今回のフェアでは、同店4階のレストランフロアとのコラボレーションイベントとしてメニューフェアを初めて実施しました。メニューフェアの利点は、レストランシェフが現地の方の好みに合う料理を考案してくださることです。日本では固い歯ごたえが自慢の明石蛸・鯛をやわらかくボイルするなど、事業者の方も思いもよらなかった斬新な発想がありました。好評だったメニューは今後、グランドメニューとして採用されるそうです。



明石蛸の溺れ煮

日本酒試飲コーナーが大盛況

今回のフェアのテーマである「酒と日本食」の名の通り、今回のフェアでは、ハードルが高いと言われている酒の新規輸入申請も支援し、7者の日本酒事業者に出展していただきました。

物産展会場の日本酒試飲コーナーでは、お客様がカウンター席に座りながら、目の前で事業者が日本酒を注ぎ説明をしながら、様々な味を楽しめるように工夫しました。欧米系の観光客の姿が目立ちました。



日本酒試飲コーナー

イートインに行列も

昨年好評だった物産展会場でのイートインを今年も実施し、カニかまぼこ寿司・名古屋きしめん・抹茶ラテ・明石タコ刺身を提供し、食事時には多くの方が訪れました。中でもカニかまぼこ寿司はリピーターの方が何度も来店され、口コミが広がってその友人の方も来店され行列ができていたのが印象的でした。



イートインの様子

期間中、商談会も実施

業務用のニーズを含めバイヤーから話を聞き、次の展開につなげるため、期間中に商談会を開催しました。

実際に商談に結び付いたケースも数社あり、現地での年末年始フェアへの出展、継続的な売り場の確保、KL市内日系レストランへの出荷等、広がっていきました



商談会の様子

長期的な販売展開が大切

現地担当者によるとマレーシアは長期的な販売展開が大切とのこと。特になじみのない日本食品に関しては、一度きりのフェアで結果がでなかったからといって諦めずに何度も出展しつづけることで、定番商品として定着するそうです。

クレアは、これからも自治体の海外への販路開拓支援を行っていきます。
ぜひ「日本ふるさと名産食品展」へご参加ください！

食品展概要

1. 日時：平成30年10月26日（金）～11月4日（日）【10日間】
2. 会場：ISETAN The Japan Store LGF（地下一階）食品販売スペース
3. 申込み自治体及び出展事業者：16自治体、27事業者
4. 出展商品：164アイテム（うち3イートイン）
5. 運営委託会社：株式会社中日アド企画（再委託：合同会社リンクスコーポレーション）

一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR） 経済交流課
TEL 03-5213-1742 E-mail keishin@clair.or.jp